

特色魅力活力ある学校



高校改革推進計画

子どもたちが充実した高校生活を送り、豊かな将来を築く基礎を培うための教育環境を整備するため、「高校改革推進計画」を策定しました。

大分県教育委員会

Q なぜ高校改革？



社会の変化

情報化、規制緩和など、社会の大きな変化に柔軟に対応できる教育が求められています。

生徒の多様化

高校進学率が98%に達し、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望などが多様化しています。

生徒数の減少

中学校卒業生数がピーク時の3分の1になって、学級数の少ない小規模校が多くなっています。

Q 改革の基本的な考え方は？

県内どこでも 充実した 教育環境

- 1 適正な学校規模は1学年6～8学級(1学級40人)としますが、状況により、4～5学級も可能とします。
- 2 学校・学科については、県全体のバランスを考え、現在の6通学区域内に複数の学校を配置し、学科は地域の状況等を勘案して配置します。

多様な 学習ニーズ への対応

- 3 多様な学習ニーズに対応する特色ある学校づくりを進めます。
 - ① 新しいタイプの学校を設置・導入します。
総合選択制高校、併設型中高一貫教育校、単位制普通科高校、独立単位制高校
 - ② 将来的なニーズや地域状況等を勘案して学科の再編整備を行います。

学校選択の 自由

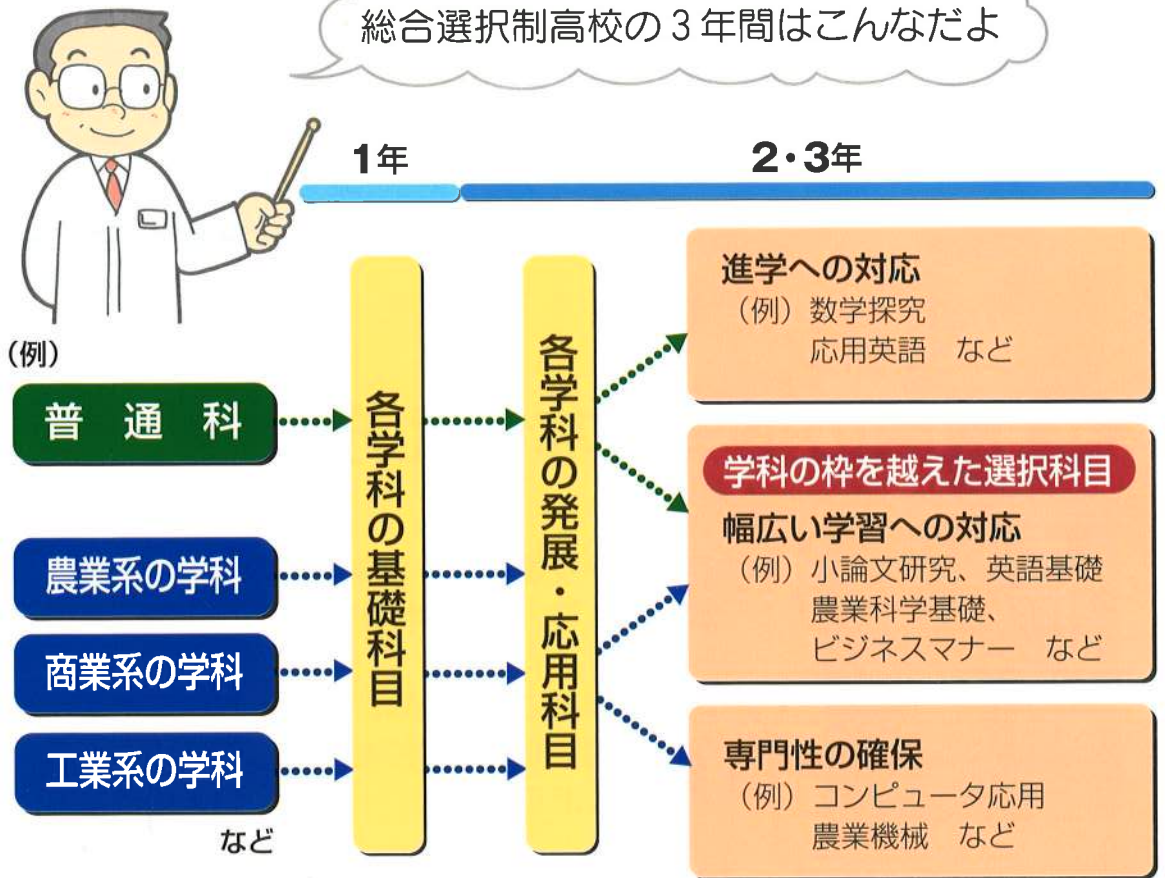
- 4 生徒が自分に合った学校を自由に選択できるように、通学区制度を見直します。
- 5 高校入試制度も併せて改善します。



総合選択制高校

普通科や農業・工業・商業に関する学科など、所属する学科は卒業するまで変わりませんが、興味・関心や進路希望などに応じて他学科の学習もすることができます。学科の専門性を維持しながら、多様な学習ニーズに対応できる高校です。

総合選択制高校の3年間はこんなだよ



必ず他の学科の科目を選択しなければいけないの？

総合選択制の高校には、普通科と専門学科が必ずあるの？

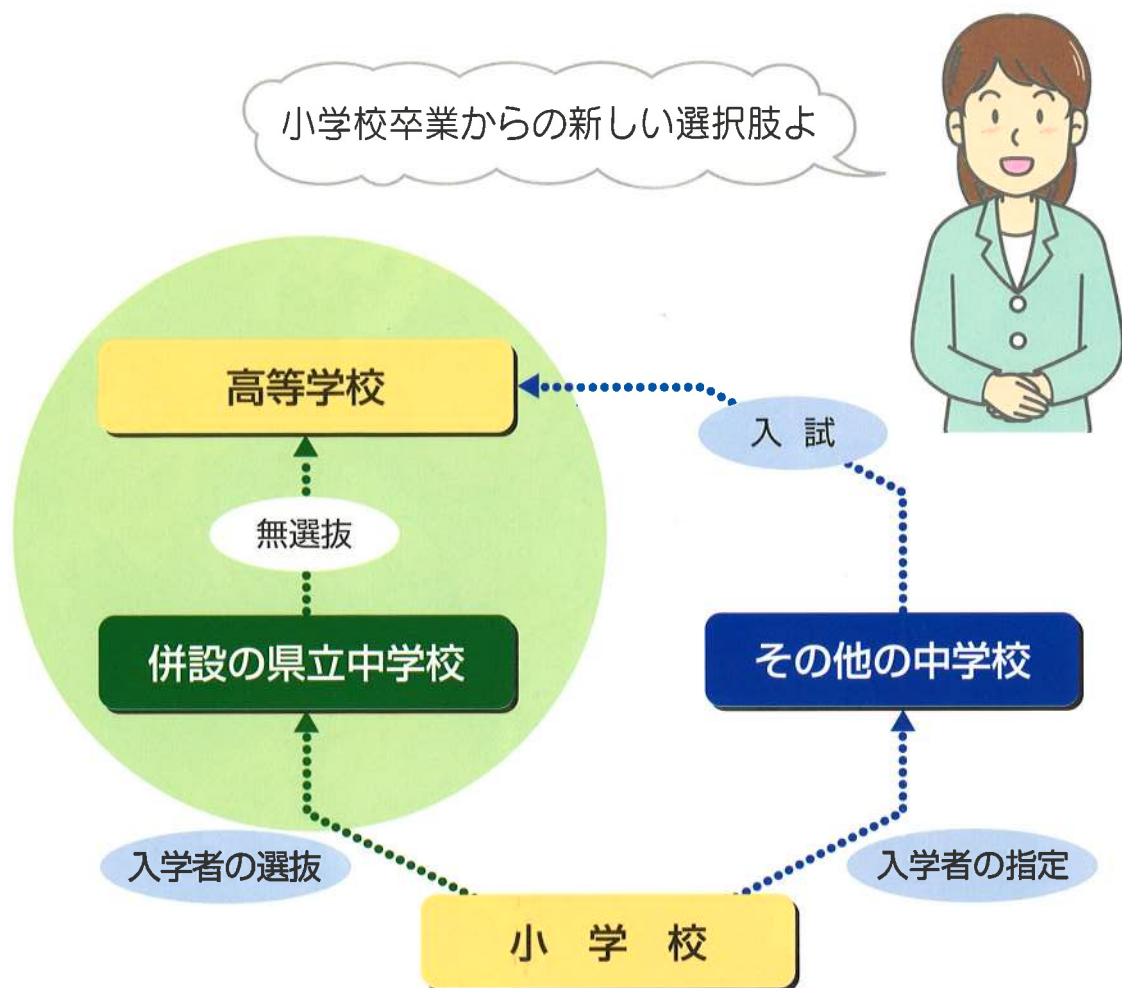
そんなことはないよ。自分の所属する学科の科目だけを学習して専門性を深めることもできるよ。

専門学科だけの総合選択制高校もあるわよ。



併設型中高一貫教育校

県立高校の敷地内に県立の中学校を設置し、6年間を通じた計画的・継続的な学習活動や部活動などを行い、生徒の個性や創造性を伸ばすことができる学校です。



どこに住んでいても
県立中学校に入学できるの？

そうよ。県内どこから
でも入学できるのよ。

高校入試みたいな試験があるの？

適性検査や作文など、学力検査以外の方法で入学者の選抜を行うのよ。

中・高合同の学校行事や中高一貫した学習指導ができるなど、特色ある学校になるわね。



単位制普通科高校

あらかじめ用意された時間割に従って授業を受けるのではなく、自分の興味や進路希望などに応じて自分で時間割を作成し、進路に応じた効率的な学習ができる普通科の高校です。



外からはわからないけど、かなり違うわね。

学年制 (通常の高校)

- 学年毎に定められた教科・科目を学習する。
- 学年毎に進級や卒業を認定する。
- 授業など学校生活はクラスが中心になる。

単位制

- 学年の区分を設けない。
- 自分で時間割を作成する。
- 学年毎の進級の認定は行わず、3年後に卒業を認定する。
- クラスは設けるが、授業は科目毎に異なる教室で受ける。

入学してすぐに科目選択をするの？

入学して1年間は必修科目を中心に学習するんだよ。

自分で選べるのはうれしいけど、ちゃんと選択できるか不安だわ。

「学習内容案内」を参考に選択したり、先生たちが計画的に1人ひとりの相談に応じてくれるから大丈夫だよ。

興味のある分野を深く勉強したり、1人ひとりの進路希望に応じて細かく科目選択ができるので、個性が生きる高校と言えるね。



独立単位制高校

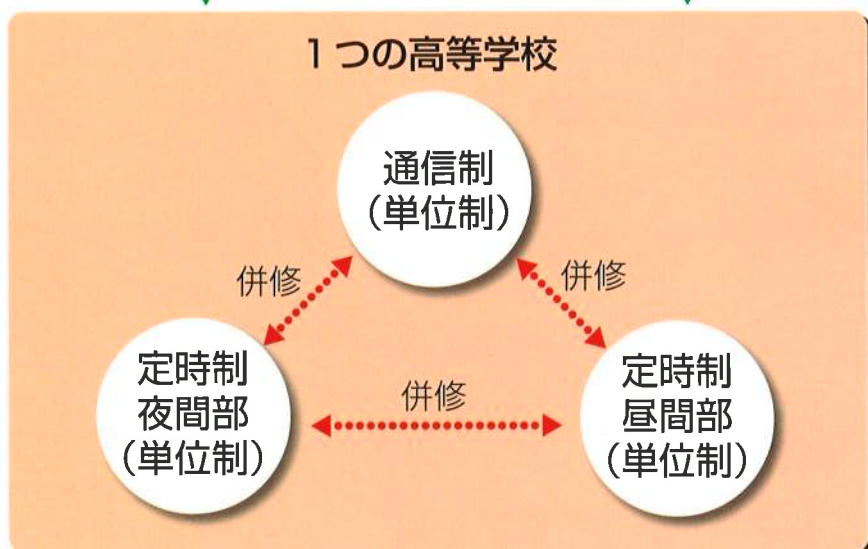
定時制と通信制の両方を設置している単位制の高校で、定時制、通信制と単位制の特色を生かし、自分の生活時間に合わせて学習することができます。定時制の昼間部と夜間部、通信制との併修が可能です。また、中途退学や生涯学習社会にも対応できる高校です。

これまでの
タイプ

定時制高校（夜間部）
1日4時間授業

通信制高校（単位制）
添削指導、面接指導

独立単位制
高校



勉強内容は全日制と同じなの？
何年間で卒業できるの？

前の学校で修得した単位はどうなるの？

全日制の学科と同じ内容だよ。昼間部、夜間部、通信制をうまく組み合わせると3年間で卒業できるよ。

前の学校で修得した単位が認められるので、この学校では残りの単位を修得すれば卒業できるよ。



Q 再編整備はどのようなの？

平成21年度までの再編整備はこうなります
(平成17年3月29日)

